

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	ネイチャーパーク活用ネットワーク事業
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)
事業実施 主体名	生物多様性チーム江東
実施期間	2012年3月10日～2013年3月31日
支援額 (注釈参照)	1,946,000円 諸謝金:620,000円 人件費:720,000円 旅費交通費:16,000円 消耗品費:57,500円 広報・記録制作費:150,000円 印刷製本費:300,000円 通信運搬費:54,000円 使用料及び会場借料:28,500円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	行政(江東区土木部水辺と緑の課計画調整担当)が事務局となり、市民団体11団体、企業4団体という構成メンバーとともに、毎月2回の定例会議で事業の進捗管理を行った。事業の内容により、それぞれの持つ得意分野を生かしながら、主担当団体と副担当団体を置き、それぞれの事業を進めた。全体の事業管理については事務局である区役所と主団体であるNPO法人ネイチャーリーダー江東が担当した。
事業概要	身近な公園緑地において、生物多様性豊かな空間を、行政だけでなく市民団体、企業、学識経験者などが協働し、地域主体で作り上げながら、それらをネットワークさせることで、地域の子どもたちを育てる場として活用していく仕組みを実現させるため、ワークショップやシンポジウムなどのソフト関連事業を行った。
事業内容	<p>全ての事業を生物多様性チーム江東メンバーが直接行った。広報については区役所が区報・区のホームページ掲載を担当し、各団体でもメーリングリスト、ホームページで広報を行った。各事業は主担当団体と副担当団体を置き、企画・運営した。</p> <p>キックオフイベント:「みんなでつくろうネイチャーパーク」シンポジウム</p> <p>生物多様性チーム江東が作成する地域連携保全活動計画(市民案)に盛り込む予定のネイチャーパークの活用のためのネットワーク作りのスタートとして、その考え方について話し合った。</p> <p>実施日時:平成24年3月10日(土)18:30～21:00</p> <p>運営担当:清田秀雄、諏訪正晃(以上2名:江東区役所)、阿河真人(NPO法人ネイチャーリーダー江東)、中安敬子(NPO法人マザーツリー自然学校)</p> <p>公園づくりワークショップ事業</p> <p>『利用者としての子どもの視点』からと『整備したい自然環境の視点』の双方から目指すべき公園像を考えるためのワークショップを計5回にわたって開催した。</p> <p>1. 子どものためのネイチャーパークを考えようワークショップ(全3回) 運営担当:中安敬子(NPO法人マザーツリー自然学校)、坂本千晴(㈱C-R.O.W)</p> <p>2. 生きもののためのネイチャーパークを考えようワークショップ(全2回) 運営担当:阿河真人(NPO法人ネイチャーリーダー江東)、大原(NPO法人生態教育センター)</p> <p>生物多様性保全事業</p> <p>3. 外来種駆除大作戦(アメリカザリガニ編)</p>

	<p>1) 駆除モニタリンググループ 実施場所：仙台堀川公園ポケットエコスペース 運営担当：松本博光（NPO 法人ネイチャーリーダー江東）、阿河真人（NPO 法人ネイチャーリーダー江東）、井上守（江東エコリーダーの会）</p> <p>2) アメリカザリガニ副読本作成グループ 運営担当：齋藤宣子（江東エコリーダーの会）、藤崎由利子、野村由紀子、栗原裕子、阿河真人（以上4名：NPO 法人ネイチャーリーダー江東）、高橋芳栄（江東ネイチャーゲームの会）、清田秀雄（江東区役所）</p> <p>生物多様性普及啓発事業 ネイチャーパークでの具体的な野外活動メニューや後継者育成プログラムを試験実施し、その効果を検証する。</p> <p>4. 生物多様性自然観察会 運営担当：藤巻由利子、加藤湖倫、松本博光（3名ともNPO 法人ネイチャーリーダー江東）</p> <p>5. 生物多様性ジュニアスクール親子体験入学コース 運営担当：清田秀雄（江東区役所）、松本博光（NPO 法人ネイチャーリーダー江東）</p> <p>事業報告会 子どもたちに対し、ネイチャーパークを疑似体験してもらい、その必要性を保護者に伝え、支援者を増やすとともに、2か年の活動結果を一般区民に報告した。また、区の担当部署へ活動内容を報告し、次年度への引き継ぎを行った。</p> <p>6. 2012 年度活動報告会 運営担当：美濃又哲男（NPO 法人江東区の水辺に親しむ会）、中安敬子（NPO 法人マザーツリー自然学校）、坂本千晴（㈱C-R O W）</p>		
得られた成果及び自己評価	<p>本会議体はC O P 1 0を契機として、2010年に結成された団体である。活動当初からの目的である生物多様性地域戦略の市民案作成に先立ち、その重要部分となる「ネイチャーパーク」について、今回の助成金事業を活用し、マルチステークホルダーの参画、子どもの視点、エコロジカルネットワークの中心課題などが鮮明に議論できた。</p> <p>事業の進行過程で、申請時よりさらに課題が浮き彫りにされたことで新たな事業を追加したこと（外来種駆除大作戦；副読本作成）があった反面、一部の事業が未実施になってしまったものがあった（ジュニアスクール事業：3回から1回実施）。</p> <p>マルチステークホルダーによる協議体の運営には時間はかかるが、総意を得ることで連帯感が増し、事業運営もスムーズに行くようになった。江東区においては行政と環境保全団体との風通しの良い関係が保たれているが、今後もさらに多くの仲間を増やしながら、「江東区モデル」のようなマルチステークホルダーが参画した市民主体による環境保全の仕組みを模索していくスタートとなった。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="411 1657 550 1796">評価ラ ンク</td> <td data-bbox="550 1657 1474 1796"> <input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった （該当する評価にレを付けてください。） </td> </tr> </table>	評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった （該当する評価にレを付けてください。）
評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった （該当する評価にレを付けてください。）		

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2. 添付書類

事業の実施内容及び実績に関する報告書